

令和3年度佐賀県健康づくり財団事業報告

I 庶務の概況に関する事項

財団運営のための庶務的事項として下記の会議等を開催しました。

1. 評議員会

① 定時評議員会（1回）

◇日時：令和3年6月17日（火）18時～

◇場所：佐賀メディカルセンタービル 4階城内記念ホール

◇報告

（1）令和2年度佐賀県健康づくり財団事業報告について

◇議事

第1号議案 令和2年度佐賀県健康づくり財団決算（案）について
（監査報告）

② 書面評議員会（1回）

◇送付日：令和3年4月16日

◇決議日：令和3年4月23日

◇議案：評議員1名の選任について

2. 理事会

① 通常理事会（4回）

■第1回通常理事会

◇日時：令和3年5月20日（木） 18時～

◇場所：佐賀メディカルセンタービル 4階城内記念ホール

◇報告

（1）代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告について

◇議事

第1号議案 令和2年度佐賀県健康づくり財団事業報告（案）について

第2号議案 令和2年度佐賀県健康づくり財団決算（案）について
（監査報告）

第3号議案 令和3年度定時評議員会の日時・場所・議案（案）について

■第2回通常理事会

◇日 時：令和3年9月9日（木）18時～

◇場 所：佐賀メディカルセンタービル 4階城内記念ホール

◇報 告

（1）代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告について

◇議 事

第1号議案 佐賀県健康づくり財団個人情報安全管理規則の一部改正
（案）について

■第3回通常理事会

◇日 時：令和3年12月19日（木）18時～

◇場 所：佐賀メディカルセンタービル 4階城内記念ホール

◇報 告

（1）代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告について

◇議 事

第1号議案 佐賀県健康づくり財団会計規程の一部改正について

第2号議案 佐賀県健康づくり財団特定費用準備資金等取扱規程の
制定について

■第4回通常理事会

◇日 時：令和4年3月17日（木）18時～

◇場 所：佐賀メディカルセンタービル 4階城内記念ホール

◇報 告

（1）代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告について

◇議 事

第1号議案 令和4年度佐賀県健康づくり財団事業計画について

第2号議案 令和4年度佐賀県健康づくり財団収支予算について

第3号議案 令和4年度佐賀県健康づくり財団資金調達及び設備投資
の見込みについて

第4号議案 令和3年度佐賀県健康づくり財団特定資産積立金
について

第5号議案 特定資産取得資金積立計画（CT装置）の積立見込み額
について

第6号議案 特定資産取得資金積立計画(学校心臓検診システム)の
積立見込み額について

第7号議案 公益財団法人佐賀県健康づくり財団育児・介護休業等に
関する規則の一部改正について

② 書面理事会（1回）

◇送付日：令和3年4月8日

◇決議日：令和3年4月13日

◇議案：評議員1名の選任に関する評議員会への提案内容及び提案方
法について

3. 常務理事会（45回）

毎週木曜日

但し、理事会開催週は除く

4. 監査会（1回）

令和3年4月22日（木）

5. 委員会

① 事業推進委員会（12回開催）

② 学校検診委員会・学校心臓検診専門委員会合同会議（1回開催）

③ 臨床検査精度管理委員会

・委員会（2回開催（うち1回は書面開催））

・調査解析作業部会（3回開催）

6. その他の事業

行事・会議等	日(曜日)	場 所	出席者
第 52 回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会施設長会(Web 開催)	4 月 1 0 日 (土)	オンライン	枝國専務理事、田中局長、山田部長
(国立研究開発法人国立がん研究センター) 2021 年度がん相談支援センター相談員基礎研修 (3)	6 月 2 0 日 (日) ~ 2 1 日 (月)	オンライン	横田相談員
2021 年度日本対がん協会全国事務局長会議	7 月 8 日 (木)	オンライン	田中局長、瀬戸口次長、他職員 9 名
第 52 回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会	7 月 1 0 日 (土)	オンライン	松永理事長、樗木副理事長、志田副理事長、枝國専務理事、甲佐常務理事、他職員 1 4 名
全国医師会共同利用施設 施設長検査健診管理者連絡協議会	7 月 1 8 日 (日)	オンライン	瀬戸口次長、北島課長
結核予防会・日本対がん協会九州・沖縄各県支部ブロック会議	8 月 2 6 日 (木)	オンライン	樗木副理事長、他職員 1 4 名
2021 年度がん征圧全国大会について	9 月 7 日 (火) ~ 9 月 8 日 (水)	オンライン	樗木副理事長、他職員 1 5 名
第 29 回全国医師会共同利用施設総会	9 月 1 1 日 (土) ~ 9 月 1 2 日 (日)	オンライン	松永理事長、志田副理事長、樗木副理事長、枝國専務理事、甲佐常務理事、池田顧問、他職員 5 名
(日本対がん協会) 「画像診断における AI 導入の現状と今後の展開」セミナー	1 2 月 1 7 日 (金)	オンライン	樗木副理事長、他 3 名

令和3年度結核予防会複十字シール運動担当者第2回オンライン会議	12月17日(金)	オンライン	岸川職員
令和3年度佐賀県CKD対策医療従事者研修会	12月22日(水)	オンライン	千住職員、他職員6名
佐賀県がん対策等推進協議会乳がん部会	1月18日(火)	佐賀県庁	福山職員
佐賀県がん対策等推進協議会子宮がん部会	1月31日(月)	佐賀県庁	北島課長
第73回結核予防全国大会	3月8日(火)	オンライン	樗木副理事長、他職員9名
佐賀県がん対策等推進協議会胃・大腸がん部会	3月11日(金)	佐賀県庁	門田課長

Ⅱ 公益目的事業の概況に関する事項

公益目的事業として下記の7つの事業を実施しました。

1. 保健啓発事業
2. 調査研究事業
3. 保健活動従事者研修事業
4. がん患者保健支援事業
5. 健診事業
6. 健診結果フォロー事業
7. 関係団体への施設貸与事業

1. 保健啓発事業

県、市町、佐賀県医師会、がん患者会等の各種団体と連携し、当財団が保有している専門的な知見（疾病、予防医学、医療、保健向上のための課題等）や情報（疾病罹患の状況、健診の方法や効果、県民自らできる健康づくりの取り組み等）を活用して、健康づくりに関する正しい知識と予防思想の普及啓発に取り組みました。

（1）市町保健施策等への支援

市町の健康づくり担当者を対象とした会議を開催し、健康診断（以下「健診」という。）の普及や精度管理、有効な健診を実施するための意見交換を行うとともに、当財団が実施した健診結果の集計・分析結果や健診の課題等を紹介し、市町の保健事業の推進、当財団と市町との協力関係の構築を図りました。

なお、コロナ禍の影響により、昨年度に大幅減少した受診者数が本年度も思うように回復しないことから、受診回復に向けての対策等について意見交換を行いました。また、がん検診率の向上に向けて、がん対策推進基本計画（国・県策定、H20年度～）が推進される中、市町ごとのがん検診の集計結果、がん・がん疑い受診者の追跡調査・分析の結果を各市町に提供し、市町の保健政策の推進を支援しました。

（市町健康づくり担当者を対象とした会議開催状況）

○第1回

◇日 時：令和3年10月15日（金）14時～15時

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール

◇内 容：健診事業の実施方法、健診料金等に関する説明及び意見交換

○第2回

◇日時：令和4年3月10日（木）14時～15時

◇会場：オンライン開催

◇内容：健診の精度管理、実施方法、計画等に関する報告及び意見交換

(2) 講演会等を通じた啓発

健診受診率の低迷が続く中、県民の健康づくりへの関心を高める必要から、県内で開催される講演会等に、当財団職員等を積極的に派遣するとともに、平成24年度からは、一般県民向けの独自の健康づくり講演会も開催し、啓発活動を充実してきました。

① 2021がん征圧県民のつどい（オンライン録画配信）

令和3年9月18日（土）に佐賀市のアバンセで開催予定の標記つどいが新型コロナの感染拡大のため中止となったが、計画していた当セミナーの内容は、新型コロナ禍において時宜を得たものであることから、収録の上、YouTube 動画の配信を通じて啓発活動を行いました。

◇セミナー「早期発見・早期治療！ コロナに負けないがん予防」

◇講師：佐賀大学医学部社会医学講座准教授 原めぐみ 先生

② オストメイト講演会

◇日時：令和3年11月6日（土）13時～16時30分

◇会場：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール

◇主催：公益社団法人日本オストミー協会佐賀県支部

◇後援：公益財団法人佐賀県健康づくり財団

◇講演（テーマ）内容：「がん手術後の精神的ケア」

③ リンパ浮腫を学ぶ会

◇日時：令和3年11月20日（土）13時～15時20分

◇会場：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール

◇主催：NPO 法人リンパ浮腫を学ぶ会

◇共催：公益財団法人佐賀県健康づくり財団

公益財団法人正力厚生会がん患者団体助成事業

◇講演内容：「リンパ浮腫を考える」

（テーマ）：「足を守る『足』のトリセツ」

：「佐賀におけるリンパ浮腫との付き合い方」

(3) 各種イベントと連携した啓発

例年は、民間のイベント事業と連携し、当財団のブースを設けたり、検診車の見学会を行ったりしていますが、今年度はコロナの影響により、一部のイベントにおいては、パネル展など非接触型の啓発活動を通して、県民の保健意識の高揚を図りました。

① リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021佐賀

今年度は新型コロナの感染拡大により、リレーイベントが中止となり、代替としてパネル展が実施されました。

◇日時：令和3年10月18日（月）14時～10月21日（木）14時

◇会場：佐賀県庁1階県民ホール(常設展示)

◇主催：リレー・フォー・ライフ・ジャパン佐賀実行委員会

◇実施内容：①これまでの活動内容を紹介するパネルの展示
②イベント開催ダイジェスト動画の放映
③RFLJ 佐賀サバイバーズフラッグ・エンプティテーブル・ルミナリエバッグ等の展示
④日本対がん協会のがん啓発パネル展示・リーフレット配布

② 乳がん・子宮頸がん啓発キャンペーン in「佐賀さいこうフェス2021」

◇日時：令和3年10月23日（土）10時～16時

令和3年10月24日（日）10時～16時

◇会場：佐賀県立博物館・美術館前

◇主催：佐賀県

◇実施内容：①乳がん検診啓発品の配布
②乳がん検診車の展示、模擬体験
③乳がん・子宮頸がん関連パンフレット等の配布
④子宮頸がん細胞の観察
⑤HPV 併用検診の周知
⑥がん検診のお知らせ

③ 乳がん検診啓発活動

◇日時：令和4年3月5日（土）8時半～11時

◇会場：佐賀メディカルセンタービル 2階
佐賀県健診・検査センター

◇主催：公益財団法人佐賀県健康づくり財団

- ◇実施内容：①乳がん検診未経験者及び3年以上未受診者を対象にした検診体験
 ②乳がんに関する事柄、がん検診の有効性などの啓蒙
 受診・参加者：43名

(4) インターネットや広報誌等を通じた広報・啓発

当財団のホームページ、広報誌「さが健財だより すこやか」により、生活習慣病等についての知識、健康づくりに取り組む事業所の紹介、健康づくりの実践のすすめなどの情報を提供しました。

① 「さが健財だより すこやか」の発行

- ◇発行回数：年間2回（夏号・新春号）
 ◇送付先：県、市町、医療機関、薬局、事業所等
 ◇発行部数：4,000部／各号
 ◇サイズ・ページ数：夏号 A4サイズ 8ページ
 新春号 A4サイズ10ページ

② ライトアップ啓発活動

実施場所：佐賀メディカルセンタービル西側壁面

ライトアップ名	趣旨・目的	期間
世界禁煙デーライトアップ (グリーン)	世界禁煙デーに合わせ、県民に禁煙への関心を持ってもらうため実施	5月31日～6月6日
「Global Gold September Campaign 2021～世界小児がん啓発キャンペーン Smile Action in 佐賀」ライトアップ (ゴールド)	(公財)がんの子どもを守る会からの依頼を受け、小児がん治療の重要性の啓発のため実施。子どもたちに必要な医療や研究に「光を照らす」国際的なイベントであり、今回日本で初開催された	9月9日
RFLJ がん患者支援リレーイベント (バイオレット)	RFLJ佐賀による「セルフウォークリレー」の実施に合わせ、啓発活動の一環として実施	9月18日・19日
世界アルツハイマーデーライトアップ (オレンジ)	県からの依頼を受け、県民にアルツハイマー病を含めた認知症に対する認識を深めていただくため実施	9月21日～23日
結核予防週間ライトアップ (レッド)	結核予防週間に合わせ、結核予防の普及啓発のため実施	9月24日～30日

ピンクリボン月間ライトアップ（ピンク）	毎年10月の「ピンクリボン月間」に合わせ、乳がん検診受診啓発のため実施	10月1日～12日、20日～31日
グリーンリボンデーライトアップ（グリーン）	県臓器バンクからの依頼を受け、臓器移植の普及、広報の取組みの一環として実施	10月13日～19日
世界糖尿病デーライトアップ（ブルー）	県医師会からの依頼で、世界糖尿病デーに合わせ、県民の糖尿病への関心を高めることを目的に実施	11月9日～14日
暴力防止週間ライトアップ（パープル）	県 DV 総合対策センターからの依頼で、「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、女性の対するあらゆる暴力の根絶を呼びかけ、被害者に対して、「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージを込めて実施	11月15日～25日
世界エイズデーライトアップ（レッド）	世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に実施	12月1日
国際小児がんデーライトアップ（ゴールド）	小児がんに関する理解を県内に広めていくことを目的に、公益財団法人がんの子どもを守る会と協同で、国際小児がんデー（2月15日）に合わせ、ゴールドリボンツリーの設置や小児がんに関するパネルの展示、ライトアップなどを実施	2月10日～16日
世界緑内障週間ライトアップ（グリーン）	県眼科医会からの依頼で、世界緑内障週間の啓発活動の一環で実施	3月5日～13日
世界結核デー（レッド）	世界結核デーに合わせ、結核の啓発活動の一環として実施	3月24日

(5) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会と連携した広報・啓発

① 結核予防週間の取組み及び複十字シール募金運動

- ・ 県知事の表敬訪問

結核予防会による複十字シール運動が8月1日より開始されることから、当財団では例年通り結核の現状報告と、複十字シール運動の意義を理解頂くと共に、結核撲滅に向けた対策推進に協力して頂くことを目的として8月4日(水)に県知事(代理の健康福祉部長)を表敬訪問しました。

- ・ ライトアップ

結核予防に関する普及啓発のため、結核予防週間(9月24日~30日)及び世界結核デー(3月24日)に、佐賀メディカルセンタービル西側を赤色にライトアップしました。

- ・ パネル展示

3月24日(木)~31日(木)まで、ビル1階エントランスホールにて結核予防運動である「複十字シール運動」に関する展示を行いました。

- ・ 募金活動

県や保健福祉事務所、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、事業所等に対する募金活動、健康を守る佐賀県婦人の会の協力を通じた募金活動を実施し、その募金は公益財団法人結核予防会に集約して、結核に関する医療研究や広報活動等に活用されています。

② がん征圧月間の取組み及び募金活動

- ・ 新聞広告

佐賀新聞(9月30日)にがん征圧月間に関する広告を掲載しました。

- ・ ポスター掲示及び配布

9月のがん征圧月間に佐賀メディカルセンタービル内の掲示板にがん征圧を呼び掛けるポスターを掲示すると共に、県、保健所、市町、国公立病院、県医師会会員、県歯科医師会会員、県薬剤師会会員、県婦人連絡協議会、報道機関等にポスター計1,000枚を送付しました。

- ・ 募金活動

啓発活動と合わせて、県や保健福祉事務所、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、事業所等の協力の下、がん征圧のための寄付金(募金)を集め、がん電話相談ダイヤル事業の財源の一部とするなど、がん対策に活用しました。

③ 保健関連刊行物等による情報提供

結核予防会、日本対がん協会が、全国の支部を通じて収集した健診情報や保健に関する新たな情報を掲載した定期情報誌「複十字」（結核予防会隔月発行、無料）、「対がん協会報」（日本対がん協会毎月発行、有償購入）を、行政機関や公共施設、当財団が健診を実施している事業所等、約200カ所に送付して情報提供を行いました。

※財源

- (1) ～ (4) の事業は、健診・検査事業収益を財源としています。但し、(3)の一部は、日本対がん協会のクーポンを利用。
- (5) の事業は、結核予防会本部からの交付金、がん征圧募金及び当財団の健診・検査事業収益を財源としています。

2. 調査研究事業

健診・検査結果、追跡調査結果等のデータを集計分析し、健診・検査事業の精度管理、外部への情報提供に活用しました。

(1) 事業年報等の報告書による情報提供

令和元年度に当財団が実施した全ての健診・検査のデータの集計分析結果や研究活動成果を事業年報として取りまとめ、医療関係機関等に配布しました。

なお、同データは、日本対がん協会にて全国集計及び分析を行い、「がん検診の実施状況」として公表されました。

○内容

- ・健診・検査事業における受診者数、受診率、精密検査率、疾病発見数（追跡調査結果）及びその経年変化状況など
- ・研究事業の発表成果等

○配布先

県、保健所、市町、健康保険者、県・地区医師会、健診機関、佐賀大学医学部、医療機関、報道機関等

○配布数 約130部

(2) 学会・学術集会等への参画

がん検診の精度の向上を図るため、がん検診の際のX線撮影や細胞診などに関する学会等に参画しました。

① 学会・学術集会

学会等名	開催日
日本輸血・細胞治療学会学術総会（WEB 開催）	6月4日～6月6日
日本臨床細胞学会総会（WEB 開催）	6月4日～6月6日
（日本臨床細胞学会）細胞検査士教育セミナー（WEB 開催）	8月20日～9月6日
第62回日本人間ドック学会学術学会（WEB 開催）	9月10日～9月24日
日本輸血・細胞治療学会 輸血テクニカルセミナー（WEB 開催）	9月18日～9月19日
日本臨床細胞学会秋期大会（WEB 開催）	10月2日～10月3日
第32回日本臨床微生物学会総会（WEB 開催）	1月29日～3月31日

② 研修会等

研修名	開催日
日本対がん協会 予約（受診者の一元管理）システムセミナー	6月30日
（国立がん研究センター）全国がん検診従事者講習会（WEB 開催）	9月15日
（日本サイコオンコロジー学会）がんサポートグループ企画・運営者のための研修会（WEB 開催）	11月3日
（日本人間ドック学会）第3回人間ドック健診専門医研修会（第59回認定医・専門医研修会）（WEB 開催）	11月16日～11月30日
令和3年度第1回医療安全管理及び院内感染対策研修会（WEB 開催）（内部研修会）	1月4日
（佐賀県）令和3年度 地域保健福祉従事者研修会（WEB 開催）	1月14日
（日本病院会）2021年度健診事業推進セミナー（WEB 開催）	3月8日
公益財団法人日本対がん協会・公益財団法人結核予防会共催令和3年度診療放射線技師研修会	3月16日～3月17日
令和3年度第2回医療安全管理及び院内感染対策研修会（WEB 開催）（内部研修会）	3月28日

(3) がん検診精度管理事業（県委託事業）

がん検診の診断結果、医療機関に対する追跡調査で把握した最終診断結果等を検証し、がん検診の精度管理、検診技術の向上に努めました。

① 肺がん症例検討及び検診技術の評価検討

◇期 日：令和4年3月1日（火）～3月11日（金）

◇場 所：各自施設（DVD配布等）

② 乳がん症例検討及び検診技術の評価検討

◇期 日：令和4年2月14日（月）～2月25日（金）

◇場 所：各自施設（DVD配布等）

③ 子宮（頸）がん症例検討及び検診技術の評価検討

◇期 日：令和3年6月～令和4年3月

◇場 所：佐賀県健康づくり財団 鏡検室

④ 胃がん検診技術の評価検討

◇期 日：令和4年3月2日（水）（運営委員会開催時）

(4) 佐賀県市町対策型胃内視鏡検診運営委員会事業

令和2年度から全20市町で実施されている胃内視鏡検診を円滑に、また効率的、効果的に実施するために、運営委員会を開催した。

① 令和3年度第1回佐賀県市町対策型胃内視鏡検診運営委員会

◇開催方法：書面会議（コロナウイルス感染予防のため）

◇日 時：令和3年8月27日（金）発信

◇参加者：42名

② 令和3年度第2回佐賀県市町対策型胃内視鏡検診運営委員会

◇開催方法：書面会議（コロナウイルス感染予防のため）

◇日 時：令和4年3月2日（水）発信

◇参加者：42名

(5) 臨床検査精度管理事業（佐賀県医師会、佐賀県臨床検査技師会との共催）

① 佐賀県医師会臨床検査精度管理調査

◇調査期間：令和3年10月13日（水）～31日（日）

◇参加施設：調査対象施設 52施設 一般参加医療機関122施設
合計174施設

② 佐賀県医師会臨床検査精度管理調査報告会

◇日 時：令和4年2月19日（土）15時00分～17時30分

◇開催方法：オンライン方式

◇内 容：①臨床検査精度管理調査の解析報告・情報提供

②特別講演

「新型コロナにどう立ち向かうか」

講師：長崎大学生命医科学域 森内 浩幸 先生

オンライン接続数：132接続（医師、臨床検査技師他）

※事業実施形態・財源

(1)、(2)、(5)は財団独自の事業で、健診・検査事業収益を財源にしています。

(3)は佐賀県からの委託事業であり、受託収益を財源にしています。

(4)は市町からの委託事務です。

3. 保健活動従事者研修事業

健診・検査や特定保健指導等の業務に従事する医療資格者のための研修等を実施し、健診等に関する知識・技術の向上を図りました。

(1) がん検診従事者講習会（県委託事業）

- ① 第1回佐賀県肺がん対策医会セミナー（第205回 佐賀県胸部疾患アーベント）

◇期 日：令和3年5月14日（金）18：30～20：00

◇会 場：ガーデンテラス佐賀 ホテル&マリトピア
1F ザ・ホワイト

◇対 象：医師

◇参加者：95名

◇特別講演

座 長：佐賀大学医学部 放射線医学講座 教授 入江 裕之 先生
演 題：『肺癌の画像診断 ～ミニレクチャーと演習～』
演 者：長崎大学大学院医師薬学総合研究科 臨床腫瘍学
教授 芦澤 和人 先生

- ② 第162回佐賀県胃癌・大腸癌検診医会研修会

◇期 日：令和4年3月12日（土）16：00～17：35

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル4階 城内記念ホール
及びオンライン開催のハイブリッドセミナー形式

◇対 象：医師

◇参加者：26名 他オンライン

◇一般演題

座 長：佐賀県胃癌・大腸癌検診医会 理事
佐賀大学医学部 放射線医学講座 准教授 水口 晶伸 先生
演 題：「大腸腫瘍の内視鏡治療」
演 者：佐賀大学医学部附属病院 光学医療診療部 部長
下田良 先生

◇特別講演

座 長：佐賀県胃癌・大腸癌検診医会 会長
佐賀大学医学部 内科学講座 消化器内科 教授 江崎 幹宏 先生
演 題：「大腸内視鏡検査の近未来像」
演 者：札幌医科大学医学部 消化器内科学講座 准教授
山野 泰穂 先生

③ 第1回子宮（頸）がん検診従事者講習会（佐賀県産婦人科医会・佐賀産科婦人科学会「佐賀産婦第224回学術研修会との共催」）

◇期 日：令和3年12月5日（日）

◇会 場：NHO佐賀病院 総合周産期母子医療・地域医療研修センター4階

◇対 象：医師

◇参加者：74名

◇一般演題

- ・「当院における希望無痛分娩への取り組みと現状」
NHO 佐賀病院 総合周産期母子医療センター産婦人科
- ・「遅発性溶血性輸血副作用について」
NHO 佐賀病院 総合周産期母子医療センター産婦人科
- ・「子宮筋腫合併妊娠」
佐賀大学医学部 産科婦人科学
- ・「当院での COVID-19 陽性妊婦に対する周産期管理の経験」
唐津赤十字病院 産婦人科
唐津赤十字病院 ICT
- ・「妊娠中に明らかになった子宮頸部腺癌の一例」
佐賀大学医学部 産科婦人科学
- ・「子宮つり上げ法を用いた TLH の経験」
佐賀大学医学部 産科婦人科学
- ・「佐賀県における婦人科ロボット支援下手術の導入と将来願望」
佐賀県医療センター 好生館 産婦人科

◇特別講演

座 長：佐賀大学医学部 産婦人科教室 教授 横山 正俊 先生

演 題：「更年期障害（ホルモン補充療法）」

演 者：久留米大学医学部産科婦人科教室 講師 駒井 幹 先生

④ 第2回子宮（頸）がん検診従事者講習会

（第38回佐賀県臨床細胞学会および佐賀県産婦人科医会・佐賀産科婦人科学会「子宮がん研修会」との合同開催）

◇期 日：令和4年3月19日（土）

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル4階 城内記念ホール、3階 研修室
（オンライン中継会場）

◇対 象：医師、臨床検査技師（細胞検査士）

◇参加者：72名

◇一般演題 1

座 長：佐賀県医療センター好生館 増田 正憲 先生
佐賀県健康づくり財団 田中 浩暁 技師

- ・「副甲状腺癌との鑑別を要した胸腺様分化を示す甲状腺癌（CASTLE: carcinoma showing thymus-like element）の1例」
佐賀大学医学部附属病院 病理部・病理診断科、佐賀大学医学部
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
佐賀大学医学部 臨床検査医学講座、佐賀大学医学部 病因病態
科学講座 診断病理学分野
- ・「穿刺吸引細胞診で悪性を疑った Hürthle cell adenoma の一例」
佐賀大学医学部附属病院 病理部・病理診断科、佐賀大学医学部
耳鼻咽喉科・頭頸部外科、佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌
内科、佐賀大学医学部 病因病態科学講座 診断病理学分野
- ・「小児に発生した唾液腺腺房細胞癌の一例」
佐賀県医療センター好生館 検査部、佐賀県医療センター好生館
病理部
- ・「髄液中に多数の腫瘍細胞が出現した乳癌癌性髄膜炎の一症例」
唐津赤十字病院検査技術科、佐賀大学医学部附属病院病理部、唐津
赤十字病院乳腺外科、唐津赤十字病院病理診断科

◇一般演題 2

座 長：唐津赤十字病院 明石 道昭 先生
国立病院機構佐賀病院 岩永 浩輔 技師

- ・「卵巣腫瘍、多発播種で発見された原発不明 neuroendocrine tumor の1例」
佐賀県医療センター好生館
- ・「子宮頸部上皮内腺癌症例の検討」
佐賀大学医学部産婦人科
- ・「HPV ワクチンー積極的勧奨再開についてー」
佐賀大学産科婦人科 子宮頸がん予防医学講座

(2) 保健指導支援ステーション事業（県委託事業）

① 基礎研修コース

特定保健指導に従事する人材の育成と活用を目的に、厚生労働省の研修ガイドラインに沿った研修を開催しました。

【基礎研修①】

◇期 日：令和3年10月17日（日）・10月24日（日）

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 4階城内記念ホール

◇対象者：特定保健指導従事者

◇研修修了者：39名

◇内容・講師

- ・ 「特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み」
講師 佐賀県国民健康保険課主任保健師 田中 久美子 氏
- ・ 「アルコールに関する保健指導の実際」
講師 肥前精神医療センター医師 依存症治療センター長
武藤 岳夫 先生
- ・ 「食生活に関する保健指導」
講師 西九州大学 健康栄養学科教授 久野 一恵 先生
- ・ 「喫煙に関する保健指導」
講師 佐賀県健康づくり財団常務理事 甲佐 和宏 先生
- ・ 「身体活動に関する保健指導」
講師 福岡大学 スポーツ科学部教授 桧垣 靖樹 先生
- ・ 「口腔衛生に関する保健指導」
講師 元町歯科診療所 歯科医師 古賀 真 先生
- ・ 「評価」
講師 佐賀県国民健康保険課主任保健師 田中 久美子 氏
- ・ 「初回面接」
講師 ライフスタイル医科学研究所所長
西九州大学特命教授 庄野 菜穂子 先生
- ・ 「全体のまとめ／自己学習に向けたヒント」
講師 ライフスタイル医科学研究所所長
西九州大学特命教授 庄野 菜穂子 先生

【基礎研修②】

◇期 日：令和3年11月28日（日）

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル4階 城内記念ホール

◇対象者：特定保健指導従事者

◇研修修了者：10名

◇内容・講師

- ・ 特定健診・特定保健指導、生活習慣病予防に関する最新情報
行動変容に関する理論と実践
講師 ライフスタイル医科学研究所所長
西九州大学特命教授 庄野 菜穂子 先生
- ・ 特定保健指導に関連する注意事項
講師 ライフスタイル医科学研究所所長

西九州大学特命教授 庄野 菜穂子 先生

- ・ 服薬のための保健指導
講師 佐賀県薬剤師会理事 北 雄一郎 先生
- ・ 困難事例の検討
講師 あだち健康行動学研究所所長 足達 淑子 氏
- ・ 評価 保健指導の効果分析
講師 佐賀県国民健康保険団体連合会保健師 永渕 めぐみ 氏
- ・ 全体のまとめ(質疑・応答)
講師 佐賀県国民健康保険課主任保健師 田中 久美子 氏

② 指導力向上研修コース

特定保健指導従事者が、保健指導における具体的なアプローチに必要な専門的知識や技術を習得し、対象者の行動変容に有効な保健指導が実施できるようになることを目的に、標記研修を開催しました。

【Aコース】

- ◇期 日：令和3年12月19日（日）
- ◇会 場：佐賀メディカルセンタービル4階 城内記念ホール
- ◇対象者：特定保健指導従事者
- ◇研修修了者：31名
- ◇内容・講師
「社会的資源、生活環境を適切に理解し行動変容につなげるために」
～対象者の生活背景を活かし行動変容に繋げる技術～
女子栄養大学栄養学部 准教授 米国登録栄養士
林 芙美 先生

【Bコース】

- ◇期 日：令和4年2月20日（日）
- ◇会 場：遠隔研修 Web会議アプリ「ZOOM」を使用
(ホスト:佐賀県健康づくり財団、共同ホスト:講師 受講生:自宅、職場等)
- ◇対象者：特定保健指導従事者
- ◇研修修了者：45名
- ◇内容・講師
「～分かっているてもできない方を望ましい行動へ促すためにナッジ理論を活用する～」(講義・演習)
株式会社キャンサーズキャン 顧問 青森県立保健大学

日本健康教育学会学術大会 事務局長 竹林 正樹 氏
「～事例を通して学ぶナッジ理論を用いた食行動の変化(演習)～」
女子栄養大学栄養学部教授 日本健康教育学会 理事長
管理栄養士 武見 ゆかり 氏

③ 人材登録事業

研修で育成した特定保健指導業務に従事できる有資格人材を、特定保健指導実施義務を担う市町等の保健指導事業に適切に活用し、特定保健指導を円滑に行うために、人材の登録を行い、県内健康保険の各保険者に情報提供しました。

◇登録人材数：64名(令和3年度末現在)

保健師：26名、管理栄養士：29名、看護師：9名

(3) 佐賀県市町対策型胃内視鏡検診運営委員会事業(研修会)

がん検診に関する国の指針の改正(平成28年4月1日施行)に伴い、胃がん検診の方法に胃内視鏡検診が導入されたため、その精度管理のための研修事業を実施しました。

① (第1回) 第159回佐賀県胃癌・大腸癌検診医会研修会及び佐賀県市町対策型胃内視鏡検査運営委員会・胃がん検診内視鏡検査研修会

◇期 日：令和3年5月22日(土)

◇会 場：WEB開催

◇対 象：医師、診療放射線技師

◇内視鏡検診報告

座 長：佐賀大学医学部 消化器内科 教授 江崎 幹宏 先生

・「佐賀県における上部内視鏡検査の現状」

済生会唐津病院 光学診療部長 遠藤 広貴 先生

・「佐賀県における下部内視鏡検査の現状」

佐賀大学医学部 放射線医学教室 准教授 水口 昌伸 先生

◇特別講演

座 長：佐賀県医療センター好生館 消化器内科 部長

緒方 伸一 先生

・「胃X線・内視鏡診断 up-to-date:HP 未感染胃癌とその鑑別診断」

松山赤十字病院 胃腸センター 藏原 晃一 先生

② (第2回) 第160回佐賀県胃癌・大腸癌検診医会研修会及び佐賀県市町対策型胃内視鏡検査運営委員会・胃がん検診内視鏡検査研修会

- ◇期 日：令和3年12月11日（土）
- ◇会 場：武雄杵島地区医師会館 2階会議室
及びWEB開催
- ◇対 象：医師
- ◇基調講演
座 長：まつもと内科・胃腸科クリニック 理事長
松本 洋二 先生
演 題：「上部消化管出血における抗血栓療法の予後」
演 者：嬉野医療センター 消化器内科 医長 山口 太輔 先生
- ◇特別講演
座 長：佐賀大学医学部 消化器内科 教授 江崎 幹宏 先生
演 題：「大腸癌検診の最前線」
演 者：広島大学病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治 先生

※事業実施形態・財源

- (1) がん検診従事者講習会は、佐賀県からの委託料を財源としています。
- (2) 保健指導支援ステーション事業は、佐賀県、県内市町、佐賀県医師会、佐賀県看護協会、佐賀県栄養士会、健保組合、全国健康保険協会佐賀県支部、共済組合の代表者で構成する企画会議で、研修計画等を決定し、当財団が事務局として事業を推進しています。
佐賀県からの委託料を財源としています。
- (3) 佐賀県市町対策型胃内視鏡検診運営委員会事業（研修会）は、市町からの委託事務です。

4. がん患者保健支援事業

平成27年9月に佐賀県がん総合支援センターを設置し、がんの患者・家族や遺族など、がんに関する悩みを持つ方に対して、不安や悩みの解消、治療・日常生活への意欲の増進等を支援するため、面談や電話相談、患者等間の交流事業を実施しました。

また、個々のがん患者等に対しては、面談や電話相談と交流事業で相乗的な支援ができるよう取り組みました。

(1) がん相談事業（県委託事業）

電話相談業務専任の相談員（週5日の相談日を保健師・看護師5名で分担）を配置し、相談専用ダイヤルを設けて、がん患者やその家族をはじめ、がんに関する悩みを持つ県民からの相談に対応しました。

また、令和3年9月からは、新型コロナウイルス感染予防対策のため、

LINE アプリを使用したオンラインがん相談を開設しました。

◇相談開設日：毎週 月～金曜日 9時30分～13時00分
14時00分～16時30分

◇電話番号：0120-246-388（フリーダイヤル）

◇広報：当財団のホームページ、ポスターの掲示（医療機関等）、検診車ボディへの表示、チラシの配布、新聞広告（無償）等

◇電話相談件数：157件（令和2年度：327件）

◇面談件数：206件（令和2年度：190件）

（2）がん患者交流事業（県委託事業）

がん患者及びその家族、遺族を対象に、講演会又はレクリエーション等の催事及び参加者同士が交流できる意見交換会を実施しました。

なお、社会福祉士、臨床心理士、がん相談員、保健師等の医療有資格者及び県内がん患者団体代表者等（ピアサポーター等）が参画しました。

① がん患者・家族つどいの会

○第1回

◇日時：令和3年7月18日(日) 13:00～16:00

◇会場：佐賀メディカルセンタービル3階 研修室

◇参加者：33名

◇内容：1. レクリエーション“超簡単！風鈴を作ろう”

講師：隈本 ヒデ子 氏

2. グループ別懇談会（4グループ）

グループごとにファシリテーター（臨床心理士、がん相談員、保健師）、ピアサポーター（サバイバー）を配置して実施。懇談の内容は、自己紹介、体験談、治療の現状・悩み、セカンドオピニオン、治療方法、家族からの支え、病气進行への不安、生きがいや趣味等。

3. スタッフによる反省会

○第2回

◇日時：令和3年11月21日(日) 13:00～16:00

◇会場：佐賀メディカルセンタービル4階 城内記念ホール

◇参加者：24名

◇内容：1. レクリエーション

“超簡単！水引小物を作ろう”

講師：小川 真由子氏

2. グループ別懇談会（3グループ）

グループごとにファシリテーター（臨床心理士、がん相談員、保健師）、ピアサポーター（サバイバー）を配置して実施。懇談の内容は、自己紹介、体験談、治療の現状・悩み、セカンドオピニオン、治療方法、家族からの支え、病气進行への不安、生きがいや趣味等。

3. スタッフによる反省会

○第3回

◇日時：令和4年3月20日(日) 13:00～16:00

◇会場：佐賀メディカルセンタービル1階エントランスホール
4階城内記念ホール

◇参加者：37名

◇内容：1. 「ハーブの音色でリラックス」

演奏：中村理恵さん

2. グループ別懇談会（4グループ）

グループごとにファシリテーター（臨床心理士、がん相談員、保健師）、ピアサポーター（サバイバー）を配置して実施。懇談の内容は、自己紹介、体験談、治療の現状・悩み、セカンドオピニオン、治療方法、家族からの支え、病气進行への不安、生きがいや趣味等。

3. スタッフによる反省会

② がん遺族つどいの会

○第1回

◇日時：令和3年8月7日(土) 13:00～16:00

◇会場：佐賀メディカルセンタービル1階 “さん愛プラザ”、エントランスホール

◇参加者：13名

◇内容：1. 交流会

2. 音楽鑑賞会（バイオリン&ピアノ演奏）

バイオリンの田川みゆきさんとピアノの内田みどりさん

○第2回

◇日時：令和4年1月8日(土) 13:00～16:00

◇会場：佐賀メディカルセンタービル1階 “さん愛プラザ”、エントランスホール

◇参加者：11名

◇内容：1. 交流会
2. 音楽鑑賞会（ピアノ演奏）
ピアノ奏者の宮原千春さん

③ 男のがん講座

◇日時：令和3年12月5日(日) 13:00～16:00

◇会場：佐賀メディカルセンタービル4階 4階城内記念ホール

◇参加者：34名

◇内容：1. 講義「前立腺がんについて」
佐賀大学医学部泌尿器科学講座
教授 野口 満 先生
2. 講義「大腸がんについて」
佐賀大学医学部一般・消化器外科学講座
准教授 真鍋 達也 先生
3. 交流会

④ 地域型がんサロン事業

各地域からの交流会への参加希望に十分に應えることができないため、各地域のがん経験者等のボランティアの協力を得て、受診している医療機関やがんの部位に関係なく誰でも参加できる地域型がんサロン（地域版がん患者等つどいの会）を開催しました。

◇開催時期 毎月又は隔月1回

◇開催場所 県内4カ所（鳥栖、多久、唐津、杵島）

⑤ 常設型がんサロン事業

佐賀メディカルセンタービル1階に常設のがんサロン（さん愛プラザ）を設置し、がん経験者等のボランティアの協力を得て、受診している医療機関やがんの部位に関係なく誰でも参加できるがんサロンを開催しました。

◇開催場所 佐賀メディカルセンタービル1階

◇開設日時 毎週月～金曜日 9時00分～17時00分

毎月原則第3日曜日 13時00分～16時00分

② 第2回研修会（オンライン研修：講師のみ）

◇日時：令和3年10月31日（日） 13：00～16：00

◇会場：佐賀メディカルセンタービル4階 城内記念ホール

◇内容：講義「相談の品質にこだわってみよう」

日本対がん協会がんサバイバー・クラブ マネージャー

横山 光恒 氏

◇受講者：18名

③ 第3回研修会

◇日時：令和4年3月13日（日） 13：00～16：00

◇会場：佐賀メディカルセンタービル4階 城内記念ホール

◇内容：講義「がんサロンでの実践編

サロンで起こりえる事例と対応のヒントについて

～がんサロンでのより良いコミュニケーション～」

佐賀大学医学部精神医学講座 助教 臨床心理士

松島 淳 氏

◇受講者：15名

※事業実施形態・財源

がん相談事業・がん患者交流事業及びがんピアサポーター養成事業は、佐賀県からの委託料、健診・検査事業による収益及び募金収益を財源にしています。

（4）その他

① 国際小児がんデー（2月15日）への協力

国際小児がんデーの啓発活動を次のとおり行いました。

- ・佐賀県メディカルセンタービル1階エントランスにゴールドリボンツリーを設置
- ・パネル展示（2月1日～28日）
- ・佐賀MCビル（西壁面）をゴールド（黄色）にライトアップ（2月10日～16日）
- ・MCビル入居団体へのチャリティーグッズ購入案内、取りまとめ、さん愛プラザへの啓発資料の設置、さがん情報掲載など

5. 健診事業

施設健診、巡回健診ともに、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により深刻な影響を受けました。一時期は、健診業務の延期・中止・受診控えにより健診受診者数が大きく落ち込みましたが、健診時の感染予防対策の実践、3密回避、スタッフの健康チェック等を徹底するなどし、受診者数の回復に努めました。

また、コロナ下でも疾病の予防や早期発見を目的とした質の高い健診の受診機会を提供し、多様な健診ニーズに対応しながら受診率の向上や利用者増対策に努めました。

① 施設健診

施設健診では、「人間ドック」、「事業所健診」、「毎日健診（市町健診）」などの各種健康診断を佐賀メディカルセンタービル2階で実施しました。1日100名程度の受診受入れを行い、受付時間の時差設定や土日実施（不定期）など、受診希望者の都合に合わせて受診しやすい受入体制を整えました。

また、健診受診エリアを男女別で設けており（一部共有）、安心して、快適に受診できるよう環境整備に努めました。

この他、医療機関よりご紹介の患者にCT検査、超音波検査、内視鏡検査（上部・下部）などを施行するなど、医療機関の保険診療を支援しました。

② 巡回健診

佐賀県から無償で貸与された検診車（17台）及び財団整備の検診車（3台）により、過疎地域や山間部地域の住民、受診者数が少ない学校や施設の児童・生徒、事業所の就労者等地理的、時間的な制約などから健診受診機会が制約される方々のため、巡回方式により県下全域で巡回健診を実施しました。

尚、コロナ下で市町住民健診受診が大きく減少しましたが、健診日程調整を行い、市町の要望に合わせ健診機会を提供し、受診者数回復に努めました。

③ 受診機会の拡大のための事業

健診受診機会の選択肢を広げる観点から、通常のX線撮影装置では撮影が困難な障害者等に対するポータブル撮影や、受診者の利便性に配慮した公民館健診などを実施しました。

また、土・日・祝日の健診や夜間健診のほか、乳がん検診・子宮がん検診などの女性向けの検診については、女性スタッフだけのレディスデーを設けるなど、健診実施者のニーズに積極的に対応し、受診しやすい健診環境づくりに取り組みました。

- *土日祝日健診 92日間
- *夜間検診 10日間
- *レディースデー（女性向け検診日） 10日間

〔実施主体による事業区分〕

当財団が行っている健診・検査事業は、実施主体によって分けると以下のようになります。

- ・市町が実施する特定健康診査、がん検診等
法令等：「高齢者の医療の確保に関する法律」「健康増進法」等
対象：市町の住民
- ・事業所健診
法令等：労働安全衛生法等
対象：事業所の労働者
- ・学校が行う生徒、職員の健診
法令等：学校保健安全法
対象：学校の児童、生徒、学生及び職員
- ・事業所、学校、施設等が行う結核検診
法令等：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
対象：事業所の労働者、学校の学生・生徒等、施設の入所

※事業実施形態・財源

上記健診の実施者（市町、学校等管理者、事業主等）からの依頼を受けて実施しており、健診・検査事業の収益を財源にしています。

6. 健診結果フォロー事業

（1）結果説明会の支援等

市町が行う健診実施後の受診者への結果説明会などに当財団の保健師を派遣し、住民個々の保健への理解促進と健康管理についての指導を行うとともに、要精密検査の対象者には個別の受診勧奨を実施しました。

（2）特定保健指導事業

特定健康診査後の特定保健指導が必要な対象者に対して、保険者からの委託を受け、専門的な保健指導を実施しました。

※事業実施形態・財源

(1) の事業は、一部（個別指導を内容とする結果説明会）は保健指導事業

収益を財源に実施しており、その他は、健診・検査事業収益を財源に実施しています。

(2) の事業は、保健指導事業収益を財源に実施しています。

7. 関係団体への施設貸与事業

当財団が保有する城内記念ホール（4階）及び研修室（3階）について、当財団の用途に優先使用した上で、県民の健康増進及び疾病の予防に資する団体へ、施設を貸与（公益財団佐賀県健康づくり財団研修施設使用規程に基づき、使用料を徴収）しました。

（令和3年度実績）

貸与件数：142件

Ⅲ 収益事業の概況に関する事項

収益事業として下記の事業を実施しました。

1. 臨床検査事業

県内医療機関の診療支援の一環として、検体検査を主体とし、医療機関から委託される尿・糞便等検査、血液学的検査、生化学的検査、免疫学的検査、輸血検査、微生物学的検査、病理学的検査を実施しました。

臨床検査の実施に当たっては、検査結果の質を担保するため、各事業の外部精度管理調査に参加し、精度管理の向上を通して、医療機関からの信頼を得られるよう取り組みました。

また、医療機関からの委託検査については、診療を適切にサポートする上で正確、且つ迅速な検査結果の提供が重要なため、検体の受領に当たっては、十分な集配体制で取り組み、検査結果の報告に当たっては、必要に応じてFAXや電話を利用するとともに、インターネットを活用した臨床検査データ通信システム「Web きゃどらいん」による迅速かつ、利便性の高い情報サービスを実施しました。

しかしながら、年々医療機関からの検体検査受託件数が減少しており今後の対策を模索しています。

一方、令和3年度はコロナ第5波、第6波の感染拡大に伴い、臨床検査部門では新型コロナウイルスPCR検査の受託数が爆発的に増加し、集荷及び検査体制ともにフル回転で実施した結果、検査料収入も大幅に増収いたしました。結果的に検査事業収益は、前年度に比べ大きく上回る売上となりました。